

## ■ 認知症に関する活動計画(概要)

福岡県作業療法協会では、保健福祉部内に認知症作業療法推進委員会を設置している。活動は、認知症に関する研修の開催や「認知症にやさしい図書館」事業を中心に展開している。また、各市町村における認知症関連の地域活動との連携を深めるとともに、地域活動を担うことのできる作業療法士の育成や、会員間のつながりの強化にも取り組んでいる。

## ■ 認知症にやさしい図書館事業

・小さな本棚（認知症関連の推薦図書紹介冊子）の作成  
認知症の普及啓発事業の一環として、小冊子「小さな本棚」を作成した。2025年度は【次世代へのメッセージ編】として10冊を選書し、それぞれに推薦文を掲載している。本編では、小学生高学年が認知症の理解を深められる絵本などを中心に選書した。これらは作業療法士のみならず、中学生にも選書および推薦文の執筆を依頼した。冊子は、図書館でのイベントにおける紹介をはじめ、図書館や市民センター等に設置・配布している。



・小さな本棚のイベントでの紹介  
地域の健康フェスタなどにおいて、小さな本棚の紹介、および、掲載図書の展示を行なっている。



・図書館における普及・啓発イベントの開催  
北九州市内の図書館において、認知症の普及・啓発イベントを開催している。内容は、作業療法士による講座に加え、地域住民と作業療法士、作業療法士の学生や高校生との交流会、地元高校生による認知症関連図書の紹介コーナーの設置、図書の紹介や読み聞かせなどであり、多世代交流を意識した取り組みとなっている。



## ■ 福岡市オレンジパートナーズへの団体登録と活動

福岡オレンジパートナーズとは、認知症の人とその家族、企業、団体、医療・介護・福祉事業者、行政で構成されるコンソーシアムである。本コンソーシアムは、認知症について自主的に「知る」「考える」「つながる」「行動する」ことを目的とし、認知症になっても自分らしく生きるために何ができるかを考え、実際の取り組みにつなげることを目指している。福岡県作業療法協会は団体登録を行っており、各種研修会や意見交換会に参加している。